

3 学校教育目標

夢に向かって ふみ出す一歩
～ やさしく かしこく たくましく ～

子どもたちが将来に向かってたくましく生きていくためには、人生に夢や志をもつこと、そして、それに向かって勇気をもって一歩を踏み出すことが大切である。小学校生活の6年間は、子どもたちが夢に向かって一歩ずつ歩みを進めるための資質・能力を育む重要な時期であると考えます。

そこで、「一歩」「ふみ出す」をキーワードとして子どもたちが自分の夢や志に向かって「一歩をふみ出す」ことができるようにしていきたい。

子どもたちが一歩を踏み出すための基盤として、温かく良好な人間関係を築くことができるように相手を思いやり互いに尊重しあえる「やさしさ」を育みたい。そして、より深く学ぶために探求する心「かしこさ」を育みたい。最後に、子どもの生きる力を支える心身の「たくましさ」の育成である。一人一人がしっかりと一歩ずつ歩みを進めることができるように、健康で丈夫な体、そして困難にもくじけないしなやかで強い心を育てたい。

夢に向かって一歩を踏み出せるように、知・徳・体の調和のとれた未来に通用する生きる力を育み、そして地域と共に生きる実感をもち、地域に貢献できる子どもたちの育成に力を注ぎたい。

4 目指す姿

〈目指す子ども像〉

- ・相手を思いやり、優しく接することのできる子ども
- ・主体的に学び、自分の考えをもち、表現できる子ども
- ・志をもち、たくましく生き抜く子ども
- ・ふるさとを愛し、共によく生きようとする子ども

〈目指す学校像〉

- ・子どもにとって・・・学習内容が分かり、仲間と仲良く過ごせる“魅力ある学校”
- ・教職員にとって・・・自分の持ち味が発揮でき、子どもの成長に“やりがいを感じる学校”
- ・保護者や地域にとって・・・思いや願いを共有し、“共に子どもを成長させる学校”

〈目指す教職員像〉

- ・子どもに夢（志）をもたせられる教職員
- ・子どもの今の姿を認め、寄り添い、意欲と能力を引き出す教職員
- ・建設的な構想をもって、周りと協力して学校経営へ参画する教職員